

山田ともこ

子育て
マツサイチュー



県政活動報告書 | 教育と福祉がつくる未来。



●日宇地区 山田ともこと語る会を終えて

6月23日(土)、日宇地区公民館において「山田ともこと語る会」を開催しました。参加して頂いた30名の皆様を前に議会報告を行うとともに、地域の要望や県政に対するご意見等をお聞きしました。県民に身近な議会を目指して、今後も頑張って参りたいと存じます。



議会報告を行う山田ともこ県議

暑中見舞い申し上げます。今年は九州も計画停電が心配される中、節電の夏になりそうです。どうぞお体をご自愛ください。

●10日間に及ぶ総務委員会 集中審議!!

↓長崎新聞記事(7月7日朝刊) 山田ともこ、議会で『防災基本条例』の議員提案を目指す

県議会の定例会月議会は6日、総務、文教厚生、環境生活、農水経済の各常任委員会を統括。総務委は、災害に強い地域づくりに向けた理念や枠組みを示す「防災基本条例(仮称)」の制定に向け調整に入った。今後、正副委員長がたたき台となる素案を策定。同委での集中審査を経て、来年の2月定例会月議会で議員提案を目指す。

条例は県民や行政、事業者の役割を明確にした上で、行政が取り組む防災対策や県民や事業者の責務を定める。山田朋子委員長(改革21)は「離島・半島や原子力災害対策の推進など本県独自の内容も盛り込み、県民の防災意識を高めるものにしたい」と話した。

県危機管理課によると、同様の条例は全国18都道府県、九州では大分、宮崎、鹿児島各県で制定。このうち5県は議員提案だった。2009年4月に施行した北海道防災対策基本条例では「自助」「共助」「公助」といった基本理念を示



県議会総務委

防災基本条例制定へ

来年2月 議員提案目指す

し、自主防災組織への参加など道民や事業者、道の責務を明記。道の基本的な施策や寒冷期の対策を定めている。(川邊壮一朗)



会派でペーパーレス化の勉強会



世知原の皆様の要望を県へ



発行:山田ともこ事務所 発行日:24年7月10日

佐世保市光月町8-20

TEL:0956-37-0058 FAX:0956-37-0078